

平成30年度 第2回 リハビリ部会研修会レポート

記載者：介護老人保健施設 そよかぜ 作業療法士 今田 圭佑

<日時> 平成31年 3月3日(日) 10:00~12:30

<会場> 山口県セミナーパーク 研修室102

<テーマ> 「これでいいの？みんなどうやっているの？」

<内容>

10:00~11:30 グループワーク

11:30~12:30 発表・意見交換

日々の業務や平成30年度制度改定における現在算定可能な加算など業務の中で感じている疑問点をそれぞれ出し合い解決するため本研修を実施し、グループワークを行った。

各施設のおかれている状況や抱えている問題・悩みは様々であった。また、それぞれの施設において使用している書式を持ちより、自分の施設で使用している書式に問題がないかなどの確認をしたり各施設が現在算定しているまたは今後算定したいがどうすればいいのか分からない加算などについて質問しあう中で自分の施設での問題点に対する気づきや、新たな疑問・課題が生まれたり多くの積極的な意見が飛び交う場になっていた。その中で介護老人保健施設におけるリハビリ、介護・看護職員などの人員不足の問題は各施設共通して感じており、様々な加算の算定や制度改定に対応していく中で大きな障害となっていると感じた。



後半からはグループワークで出た内容の発表や解決できなかった疑問を他のグループに質問し、意見を求め合い話し合う機会となった。リハビリテーションについての記録の方法・書式について意見や知識の共有ができ、さらに在宅強化型や超強化型の施設の取り組みや通所リハビリテーションでの人員配置など具体的な内容が話し合われ、普段業務の中で気になっているがどうしたらいいかわからない問題について解決することが出来、さらに今後の課題について改めて考える機会となった。

